2021年３月期　第３四半期決算短信〔ＩＦＲＳ〕（連結）

2021年２月１日

上場会社名　塩野義製薬株式会社　上場取引所　東
コード番号　4507　ＵＲＬ　http://www.shionogi.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）手代木 功
問合せ先責任者　（役職名）広報部長　（氏名）京川　吉正　ＴＥＬ　06-6202-2161

四半期報告書提出予定日　2021年２月10日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無　：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2021年３月期第３四半期の連結業績（2020年４月１日～2020年12月31日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年３月期第３四半期	224,419	△11.9	102,201	△4.2	116,830	△5.5	86,073	△8.7	86,073	△8.7	93,658	8.8
2020年３月期第３四半期	254,753	－	106,694	－	123,641	－	94,308	－	94,260	－	86,055	－

	基本的１株当たり四半期利益	希薄化後１株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年３月期第３四半期	279.90	279.80
2020年３月期第３四半期	303.79	303.41

（注）2021年３月期第３四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2020年３月期第３四半期の要約四半期連結財務諸表を遡及修正しております。

（２）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年３月期第３四半期	945,726	850,267	839,520	88.8
2020年３月期	873,695	765,203	765,152	87.6

（注）2021年３月期第３四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2020年３月期の連結財務諸表を遡及修正しております。

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年３月期	－	50.00	－	53.00	103.00
2021年３月期	－	53.00	－		
2021年３月期（予想）				53.00	106.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2021年３月期の連結業績予想（2020年４月１日～2021年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的１株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	301,400	△9.6	122,900	△5.9	149,300	△5.8	113,700	△7.0	370.85

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

①　ＩＦＲＳにより要求される会計方針の変更：有

②　①以外の会計方針の変更　　　　　　　：無

③　会計上の見積りの変更　　　　　　　　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年３月期３Ｑ	311,586,165株	2020年３月期	316,786,165株
②　期末自己株式数	2021年３月期３Ｑ	4,994,223株	2020年３月期	13,002,082株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2021年３月期３Ｑ	307,515,149株	2020年３月期３Ｑ	310,283,585株

※　四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（国際財務報告基準（IFRS）の適用）

当社グループは、前連結会計年度末(2020年３月期)における連結財務諸表から国際財務報告基準(IFRS)を任意適用しております。なお、前第３四半期連結累計期間の財務数値につきましてもIFRSに準拠して表示しております。

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．経営成績等の概況（４）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

決算補足説明資料はＴＤｎｅｔで同日開示しております。

当社は、2021年２月１日（月）にアナリスト向けに説明会を開催する予定です。説明内容（トランスクリプト）については、当日使用する資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2

（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2

（２）当四半期の財政状態の概況 …… 2

（３）当四半期のキャッシュ・フローの概況 …… 3

（４）今後の見通し …… 3

２．要約四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4

（１）要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 …… 4

（２）要約四半期連結財政状態計算書 …… 6

（３）要約四半期連結持分変動計算書 …… 8

（４）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9

（５）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 11

（継続企業の前提に関する注記） …… 11

（会計方針の変更） …… 11

（セグメント情報） …… 11

１．経営成績等の概況

当社グループは、前連結会計年度末（2020年３月期）における連結財務諸表から国際財務報告基準（IFRS）を任意適用しております。なお、前第３四半期連結累計期間の財務数値につきましてもIFRSに準拠して表示しております。

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間（自 2020年４月１日　至 2020年12月31日）の業績は、以下のとおりです。

（単位：百万円）

	当第３四半期 連結累計期間	前第３四半期 連結累計期間	増減	増減率（%）
売上収益	224,419	254,753	△30,334	△11.9
営業利益	102,201	106,694	△4,492	△4.2
コア営業利益 ※	79,974	104,443	△24,469	△23.4
税引前四半期利益	116,830	123,641	△6,810	△5.5
親会社の所有者に帰属する四半期利益	86,073	94,260	△8,186	△8.7

※会計基準の変更に伴い、会社の経常的な収益性を示す利益指標として「コア営業利益」を設定し、これを当社独自の業績管理指標として採用しております。「コア営業利益」は、営業利益から非経常的な項目（減損損失、有形固定資産売却益等）を調整した利益となります。

売上収益につきましては、前年同期比11.9%の減収となりました。国内医療用医薬品の売上収益につきましては、サインバルタ及びインチュニブの売上収益が拡大したものの、新型コロナウイルス感染症の拡大による受診抑制や感染予防対策の励行によるインフルエンザを含む多くの感染症の著しい減少等、医薬品市場における環境変化に加え、長期収載品を中心に薬価改定による影響を受けた結果、前年同期比10.5%の減収となりました。海外子会社及び輸出の売上収益につきましても、米国において多剤耐性グラム陰性菌に効果を示すFetrojaが好調に推移した一方、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による影響を受けて、中国で販売するラベプラゾール等一部製品の売上収益が減少しました。加えて、米国において、前第３四半期連結累計期間にバイオデリバリー・サイエンシズ・インターナショナル社よりSymproicの共同販売契約に伴う一時金を受領した影響が大きく、海外子会社及び輸出の売上収益は、前年同期比27.2%の減収となりました。製造受託による売上収益につきましては、医薬品製造を請け負うナガセ医薬品株式会社の連結子会社化により増加したものの、ドルテグラビル原薬の製造法改良を控えた一時的な受注減や、インフルエンザの流行予想に基づくゾフルーザの受注減等の影響により、前年同期比14.3%の減収となりました。ロイヤリティー収入につきましては、ヴィーブ社による抗HIV薬テビケイ、トリーメク、ジャルカ及びドウベイトのグローバル販売は引き続き堅調に推移したものの、為替の影響により同社からのロイヤリティー収入は前年同期比2.8%の減収となりました。さらに、前年同期にゾフルーザのグローバル開発の進展に伴うマイルストンをロシュ社より受領したため、ロイヤリティー収入全体では前年同期比11.5%の減収となりました。

利益面では、営業利益につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて医療機関への訪問自粛等の対応を行ったため販売費及び一般管理費が減少し、シオノギ渋谷ビル再開発に伴う交換益（その他の収益に含みます）が発生した一方、新型コロナウイルス関連プロジェクトや注力プロジェクトへの研究開発投資が増加し、さらに売上総利益の減少の影響が大きく、前年同期比4.2%の減少となりました。コア営業利益は、非経常的な要因である前述のシオノギ渋谷ビルの交換益を除いたため、前年同期比23.4%の減少となりました。税引前四半期利益及び親会社の所有者に帰属する四半期利益につきましては、営業利益の減少に伴い、それぞれ前年同期比5.5%、8.7%の減少となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

当第３四半期連結会計期間末の資産合計は9,457億26百万円で、前連結会計年度末に比べて720億30百万円増加しました。

非流動資産は、Tetra社の連結子会社化によるのれんの増加及びシオノギ渋谷ビル再開発による投資不動産の増加等により前連結会計年度末に比べて439億30百万円増加となりました。流動資産は、棚卸資産及び３ヶ月超の定期預金（流動資産のその他の金融資産に含みます）の増加等の結果、前連結会計年度末に比べて280億99百万円増加しました。

資本については8,502億67百万円となり、四半期利益の計上と配当金の支払、第三者割当による自己株式の処分、平安グループとの子会社設立に伴う非支配持分が増加した結果、前連結会計年度末に比べて850億63百万円増加しました。

負債については954億58百万円で、前連結会計年度末に比べて130億33百万円減少しました。
非流動負債は43億10百万円減少、流動負債は87億23百万円の減少となりました。
なお、当連結会計年度に連結子会社としたTetra社及びナガセ医薬品について、取得原価の配分等が完了していないため、暫定的な会計処理を行っています。また、前第３四半期連結会計期間より暫定的な会計処理をしておりましたUMNファーマにつきましては、当第３四半期連結会計期間において取得対価の配分を完了し、取得した資産および引き受けた負債の暫定的な公正価値を遡及修正しております。

（３）当四半期のキャッシュ・フローの概況

当第３四半期連結累計期間の「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、税引前四半期利益の減少、営業債権及びその他債権の回収額の減少等により、前年同期に比べ260億42百万円少ない586億40百万円の収入となりました。
「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、余資運用に係る定期預金及び有価証券の取得・売却、子会社の取得による支出等により、前年同期に比べ280億65百万円多い479億73百万円の支出となりました。
「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、配当金の支払い及び自己株式の取得、第三者割当による自己株式の処分及び平安グループとの子会社設立に伴う株式発行収入等により、前年同期に比べ545億１百万円少ない133億42百万円の支出となりました。
これらを合わせた当第３四半期連結累計期間の「現金及び現金同等物の増減額」は40億72百万円の減少となり、当第３四半期連結会計期間末の「現金及び現金同等物の四半期末残高」は、2,047億88百万円となりました。

（４）今後の見通し

最近の業績動向を踏まえ、2020年10月30日に公表した2021年３月期通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

１．連結業績予想の修正

2021年３月期通期連結業績予想数値の修正（2020年４月１日～2021年３月31日）

	売上収益 （百万円）	営業利益 （百万円）	税引前利益 （百万円）	親会社の所有者に帰属する当期利益 （百万円）	基本的１株当たり当期利益 （円）
前回発表予想（A）	318,100	133,200	159,600	119,700	390.42
今回修正予想（B）	301,400	122,900	149,300	113,700	370.85
増減額（B－A）	△16,700	△10,300	△10,300	△6,000	―
増減率（％）	△5.2	△7.7	△6.5	△5.0	―
（ご参考）前期実績 （2020年３月期）	333,371	130,628	158,516	122,193	395.71

※当社は、2020年10月30日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を実施しております。前回発表予想の「基本的１株当たり当期利益」については、当該自己株式の取得の影響を考慮しております。

２．連結業績予想の修正理由

売上収益につきましては、ゾフルーザの受注調整等の影響による増加を見込む一方で、第３四半期連結累計期間における感染症薬をはじめとした医療用医薬品の進捗の遅れ、ヴィーブ社からのロイヤリティー収入の為替の影響による受領額の減少により、通期では従来予想を下回る見通しです。利益面につきましては、リソースのさらなる適正化により販売費及び一般管理費は減少する見込みですが、売上収益の減少により営業利益は従来予想を下回る見通しです。また、税引前利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益は、営業利益の減少に伴い、それぞれ通期で従来予想より減少する見通しです。

２．要約四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

（要約四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2019年４月１日 至　2019年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2020年４月１日 至　2020年12月31日）
売上収益	254,753	224,419
売上原価	△40,711	△35,947
売上総利益	214,042	188,471
販売費及び一般管理費	△70,661	△66,232
研究開発費	△34,852	△39,234
製品に係る無形資産償却費	△2,437	△2,406
その他の収益	2,961	23,315
その他の費用	△2,357	△1,712
営業利益	106,694	102,201
金融収益	18,478	15,884
金融費用	△1,531	△1,256
税引前四半期利益	123,641	116,830
法人所得税費用	△29,332	△30,756
四半期利益	94,308	86,073

四半期利益の帰属		
親会社の所有者	94,260	86,073
非支配持分	48	△0
四半期利益	94,308	86,073

１株当たり四半期利益		
基本的１株当たり四半期利益（円）	303.79	279.90
希薄化後１株当たり四半期利益（円）	303.41	279.80

（要約四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2019年４月１日 至　2019年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2020年４月１日 至　2020年12月31日）
四半期利益	94,308	86,073
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定するものとして指定した資本性金融商品の公正価値の純変動額	△5,179	△1,190
確定給付制度の再測定	767	2,293
純損益に振り替えられることのない項目合計	△4,411	1,102
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の外貨換算差額	△4,445	9,561
キャッシュ・フロー・ヘッジの有効部分	603	△3,079
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△3,842	6,481
税引後その他の包括利益合計	△8,253	7,584
四半期包括利益	86,055	93,658

四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	86,221	93,658
非支配持分	△166	△0
四半期包括利益	86,055	93,658

（２）要約四半期連結財政状態計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2020年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2020年12月31日）
資産		
非流動資産		
有形固定資産	71,350	74,770
のれん	7,854	25,397
無形資産	51,705	52,251
使用権資産	4,657	4,251
投資不動産	2,496	26,496
その他の金融資産	202,161	207,322
繰延税金資産	3,048	4,822
その他の非流動資産	14,394	6,287
非流動資産合計	357,669	401,600
流動資産		
棚卸資産	33,818	40,897
営業債権	79,804	83,733
その他の金融資産	171,157	189,918
未収法人所得税	192	90
その他の流動資産	22,191	24,697
現金及び現金同等物	208,861	204,788
流動資産合計	516,026	544,126
資産合計	873,695	945,726

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2020年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2020年12月31日）
資本及び負債		
資本		
資本金	21,279	21,279
資本剰余金	21,025	21,326
自己株式	△77,292	△28,422
利益剰余金	708,291	728,684
その他の資本の構成要素	91,848	96,651
親会社の所有者に帰属する持分	765,152	839,520
非支配持分	51	10,747
資本合計	765,203	850,267
負債		
非流動負債		
リース負債	4,791	4,100
その他の金融負債	4,179	3,488
退職給付に係る負債	16,089	13,241
繰延税金負債	1,949	1,902
その他の非流動負債	362	328
非流動負債合計	27,372	23,062
流動負債		
リース負債	3,361	3,321
営業債務	10,763	10,327
その他の金融負債	17,557	13,886
未払法人所得税	21,886	21,524
その他の流動負債	27,551	23,337
流動負債合計	81,119	72,396
負債合計	108,492	95,458
資本及び負債合計	873,695	945,726

（３）要約四半期連結持分変動計算書

前第３四半期連結累計期間　（自　2019年４月１日　至　2019年12月31日）

（単位：百万円）

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	親会社の所有者に帰属する持分	非支配持分	資本合計
2019年４月１日残高	21,279	21,277	△28,882	613,483	181,616	808,774	4,313	813,087
四半期利益				94,260		94,260	48	94,308
税引後その他の包括利益合計					△8,038	△8,038	△214	△8,253
四半期包括利益	－	－	－	94,260	△8,038	86,221	△166	86,055
自己株式の取得			△30,728			△30,728		△30,728
自己株式の処分		△509	1,602			1,093		1,093
配当金				△31,134		△31,134		△31,134
企業結合による変動						－	682	682
支配継続子会社に対する持分変動		778				778	△4,145	△3,366
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				2,620	△2,620	－		－
その他		420		△420		－	49	49
2019年12月31日残高	21,279	21,966	△58,008	678,810	170,956	835,004	733	835,737

当第３四半期連結累計期間　（自　2020年４月１日　至　2020年12月31日）

（単位：百万円）

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	親会社の所有者に帰属する持分	非支配持分	資本合計
2020年４月１日残高	21,279	21,025	△77,292	708,291	91,848	765,152	51	765,203
四半期利益				86,073		86,073	△0	86,073
税引後その他の包括利益合計					7,584	7,584		7,584
四半期包括利益	－	－	－	86,073	7,584	93,658	△0	93,658
自己株式の取得			△20,446			△20,446		△20,446
自己株式の処分		△4,705	38,404			33,698		33,698
自己株式の消却		△30,912	30,912			－		－
配当金				△32,543		△32,543		△32,543
連結範囲の変動						－	10,696	10,696
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				2,292	△2,292	－		－
その他		35,919		△35,430	△488	△0		△0
2020年12月31日残高	21,279	21,326	△28,422	728,684	96,651	839,520	10,747	850,267

（４）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2019年４月１日 至　2019年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2020年４月１日 至　2020年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	123,641	116,830
減価償却費及び償却費	10,467	10,987
金融収益及び金融費用	△17,823	△14,951
営業債権及びその他の債権の増減額（△は増加）	16,154	△2,830
棚卸資産の増減額（△は増加）	△1,387	△6,491
営業債務及びその他の債務の増減額（△は減少）	△9,117	△1,255
その他	△10,185	△35,916
小計	111,748	66,372
利息及び配当金の受取額	21,195	24,785
利息の支払額	△115	△71
法人所得税の支払額	△48,145	△32,446
営業活動によるキャッシュ・フロー	84,682	58,640
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△143,936	△170,592
定期預金の払戻による収入	122,576	139,070
有形固定資産の取得による支出	△8,502	△10,077
無形資産の取得による支出	△2,361	△4,329
子会社の取得による支出	△4,525	△3,636
投資の取得による支出	△77,350	△86,349
投資の売却による収入	93,570	91,576
その他	622	△3,634
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,907	△47,973

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2019年４月１日 至　2019年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2020年４月１日 至　2020年12月31日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース負債の返済による支出	△2,597	△2,688
自己株式の取得による支出	△30,762	△20,468
自己株式の処分による収入	－	33,534
配当金の支払額	△31,136	△32,545
非支配持分からの払込による収入	49	10,401
非支配持分からの子会社持分取得による支出	△3,367	△1,575
その他	△30	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△67,844	△13,342
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△613	△1,396
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△3,683	△4,072
現金及び現金同等物の期首残高	195,800	208,861
現金及び現金同等物の四半期末残高	192,117	204,788

（５）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

当社グループは、第１四半期連結会計期間より、以下の基準を適用しております。以下の基準の適用が要約四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

IFRS		新設・改訂の概要
IFRS第３号	企業結合	企業結合に関する事業の定義を修正

（セグメント情報）

当社グループは、医療用医薬品の研究開発、仕入、製造、販売並びにこれらの付随業務を事業内容とする単一事業であります。製品別の販売状況、会社別の利益などの分析は行っておりますが、事業戦略の意思決定、研究開発費を中心とした経営資源の配分は当社グループ全体で行っており、従って、セグメント情報の開示は省略しております。

2021年3月期　第3四半期業績 補足資料

2021年2月1日
塩野義製薬株式会社

①　事業別売上収益

（単位：億円）

	2020年下期 予　測	2020年度 予　測	2020年 10−12月 実　績	2019年 10−12月 実　績	2020年 4−12月 実　績	2019年 4−12月 実　績	対予測 進捗率
国内医療用医薬品	512 (△6.6)	983 (△7.5)	247 (△14.4)	288 (−)	718 (△10.5)	803 (−)	73.0
サインバルタ	139	274	70	73	205	202	74.7
インチュニブ	79	140	36	26	96	71	68.6
ビバンセ	4	5	1	0	2	0	37.8
感染症薬	58	106	27	55	76	128	71.5
オキシコンチン類	28	55	13	16	41	47	73.8
スインプロイク	12	23	6	5	17	15	72.1
アシテア	2	3	1	1	2	2	71.1
ムルプレタ	1	1	0	0	1	1	67.9
ピレスパ	24	52	12	15	40	50	76.7
その他	165	323	81	97	239	287	74.0
クレストール	32	69	14	21	51	66	74.1
イルベタン類	17	34	9	11	26	32	75.1
海外子会社/輸出	135 (2.0)	245 (△20.3)	65 (0.1)	65 (−)	175 (△27.2)	240 (−)	71.2
シオノギInc.	36	70	21	17	54	85	77.4
C&O	58	101	27	30	69	102	68.7
製造受託	123 (63.3)	190 (7.8)	36 (88.0)	19 (−)	103 (△14.3)	120 (−)	54.1
一般用医薬品	64 (20.5)	119 (22.3)	33 (27.3)	26 (−)	88 (25.5)	70 (−)	74.2
ロイヤリティー収入	688 (△21.6)	1,462 (△12.4)	375 (△26.0)	507 (−)	1,148 (△11.5)	1,298 (−)	78.6
HIVフランチャイズ	604	1,243	311	328	951	978	76.5
クレストール	58	169	54	55	166	167	98.1
その他	27	50	9	124	32	153	64.2
その他	7 (△30.9)	15 (△28.9)	4 (△33.0)	6 (−)	12 (△29.1)	17 (−)	80.5
合　計	1,529 (△9.9)	3,014 (△9.6)	760 (△16.6)	911 (−)	2,244 (△11.9)	2,548 (−)	74.5

注）1. (　)内 対前年UP%
2. 国内医療用医薬品の製商品別売上収益は単体実績
3. 感染症薬の構成製品は以下：
ゾフルーザ、ラピアクタ、ブライトポックFlu・Neo、フィニバックス、フルマリン、フロモックス、セフテム、シオマリン、バンコマイシン、バクタ、フラジール、フルコナゾール、イソジン
4. 2020年度予測の数値は、2021年2月1日の業績予想修正を反映

② － １ 四半期別業績推移（四半期別事業別売上収益）

（単位:億円）

2020年3月期	2019年4-6月 実 績	対前年 UP率	2019年7-9月 実 績	対前年 UP率	2019年10-12月 実 績	対前年 UP率	2020年1-3月 実 績	対前年 UP率
国内医療用医薬品	263	－	251	－	288	－	260	－
サインバルタ	67	－	61	－	73	－	60	－
インチュニブ	18	－	26	－	26	－	36	－
ビバンセ	－	－	－	－	0	－	0	－
感染症薬	36	－	37	－	55	－	32	－
オキシコンチン類	17	－	14	－	16	－	11	－
スインプロイク	5	－	5	－	5	－	6	－
アシテア	1	－	1	－	1	－	1	－
ムルプレタ	0	－	0	－	0	－	0	－
ピレスパ	17	－	17	－	15	－	18	－
その他	102	－	89	－	97	－	96	－
クレストール	24	－	20	－	21	－	20	－
イルベタン類	12	－	10	－	11	－	10	－
海外子会社/輸出	107	－	68	－	65	－	68	－
シオノギInc.	53	－	15	－	17	－	16	－
C&O	38	－	34	－	30	－	29	－
製造受託	24	－	76	－	19	－	56	－
一般用医薬品	18	－	26	－	26	－	27	－
ロイヤリティー収入	389	－	401	－	507	－	371	－
HIVフランチャイズ	317	－	332	－	328	－	303	－
クレストール	57	－	56	－	55	－	56	－
その他	15	－	13	－	124	－	12	－
その他	5	－	6	－	6	－	4	－
合 計	808	－	829	－	911	－	786	－

注）国内医療用医薬品の製商品別売上収益は単体実績

2021年3月期	2020年4-6月 実 績	対前年 UP率	2020年7-9月 実 績	対前年 UP率	2020年10-12月 実 績	対前年 UP率
国内医療用医薬品	224	△15.1	248	△1.2	247	△14.4
サインバルタ	69	2.9	66	6.8	70	△4.2
インチュニブ	26	42.2	34	30.1	36	36.3
ビバンセ	0	－	1	－	1	1,586.9
感染症薬	21	△40.7	27	△26.5	27	△50.4
オキシコンチン類	14	△17.3	14	△1.5	13	△19.9
スインプロイク	5	△7.9	6	9.2	6	22.3
アシテア	1	3.4	1	40.1	1	44.3
ムルプレタ	0	△26.3	0	△19.8	0	△28.6
ピレスパ	14	△17.1	14	△18.2	12	△22.1
その他	73	△28.4	85	△3.5	81	△16.2
クレストール	15	△35.3	21	4.7	14	△34.2
イルベタン類	8	△30.5	9	△11.4	9	△17.8
海外子会社/輸出	55	△49.1	55	△18.5	65	0.1
シオノギInc.	17	△68.6	17	11.1	21	20.9
C&O	24	△37.5	19	△44.1	27	△11.5
製造受託	29	17.6	38	△50.1	36	88.0
一般用医薬品	23	26.1	32	23.4	33	27.3
ロイヤリティー収入	380	△2.4	393	△2.1	375	△26.0
HIVフランチャイズ	310	△2.4	330	△0.7	311	△5.2
クレストール	56	△1.6	56	△0.8	54	△0.4
その他	15	△3.6	8	△40.7	9	△92.5
その他	4	△17.2	4	△36.0	4	△33.0
合 計	714	△11.6	771	△7.0	760	△16.6

注）国内医療用医薬品の製商品別売上収益は単体実績

②－２ 四半期別業績推移（四半期別連結損益計算書）

（単位:億円）

2020年3月期	2019年4-6月 実 績	対前年 UP率	2019年7-9月 実 績	対前年 UP率	2019年10-12月 実 績	対前年 UP率	2020年1-3月 実 績	対前年 UP率
売上収益	808	－	829	－	911	－	786	－
売上原価	15.7 △127	－	18.2 △150	－	14.3 △130	－	20.4 △161	－
売上総利益	681	－	678	－	781	－	625	－
販売費及び一般管理費	28.6 △231	－	28.5 △236	－	26.4 △240	－	31.1 △244	－
研究開発費	14.5 △117	－	14.1 △116	－	12.6 △115	－	16.7 △131	－
製品に係る 無形資産償却費	1.0 △8	－	1.0 △8	－	0.9 △8	－	1.0 △8	－
その他の収益・費用	△9		△3		17		△3	
営業利益	39.2 317	－	38.0 315	－	47.7 435	－	30.4 239	－
金融収益・費用	37	－	38	－	95	－	109	－
税引前利益	43.8 353	－	42.6 353	－	58.2 530	－	44.4 349	－
税金費用他	△82	－	△81	－	△131	－	△69	－
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	33.6 271	－	32.9 273	－	43.8 399	－	35.5 279	－

2021年3月期	2020年4-6月 実 績	対前年 UP率	2020年7-9月 実 績	対前年 UP率	2020年10-12月 実 績	対前年 UP率
売上収益	714	△11.6	771	△7.0	760	△16.6
売上原価	16.1 △115	△9.3	14.8 △114	△24.4	17.2 △131	0.6
売上総利益	599	△12.0	657	△3.1	629	△19.5
販売費及び一般管理費	29.2 △209	△9.5	28.9 △223	△5.5	30.4 △231	△3.9
研究開発費	17.0 △122	4.2	16.5 △127	8.9	18.9 △144	24.8
製品に係る 無形資産償却費	1.1 △8	△0.1	1.0 △8	△0.8	1.0 △8	△2.9
その他の収益・費用	△5		△2		223	
営業利益	35.9 256	△19.1	38.5 297	△5.8	61.7 469	7.8
金融収益・費用	44	21.1	74	96.3	27	△71.0
税引前利益	42.1 301	△14.9	48.2 371	5.1	65.3 496	△6.3
税金費用他	△85	3.8	△93	15.2	△129	△1.2
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	30.2 215	△20.6	36.1 278	2.2	48.3 367	△8.0

③　開発品（2021年２月１日現在）

領域	開発No. （一般名） ［製品名］	作用機序 （剤型）	適応症	ステージ	起源	開発
感染症	S-649266 （セフィデロコルトシル酸塩硫酸塩水和物） ［米国：Fetroja®］ ［欧州：Fetcroja®］	細胞壁合成阻害 （注射）	他の治療がないまたは限定される腎盂腎炎を含む複雑性尿路感染症，院内肺炎（米国） 治療が限定される好気性グラム陰性菌による感染症（欧州）	グローバル：フェーズⅢ（小児） 米国：承認（複雑性尿路感染症）（2019年11月） 米国：承認（院内肺炎）（2020年9月） 欧州：承認（2020年4月）	自社	自社
	S-033188 （バロキサビル マルボキシル） ［日本：ゾフルーザ®］	キャップエンドヌクレアーゼ阻害 （経口・顆粒）	インフルエンザウイルス感染症	日本：承認（体重20kg以上）（2018年9月） 日本：申請（体重20kg未満）（2018年8月） 日本：フェーズⅢ（小児高用量）	自社	自社/Roche社（スイス）
	S-033188 （バロキサビル マルボキシル） ［日本：ゾフルーザ®］	キャップエンドヌクレアーゼ阻害 （経口）	インフルエンザウイルス感染症（予防投与）	日本：承認（体重20kg以上）（2020年11月）	自社	自社/Roche社（スイス）
	S-648414	未公表 （経口）	HIV感染症	米国・日本：フェーズⅠ	自社	自社
	S-268019	ワクチン（筋注）	新型コロナウイルス感染症の予防	日本：フェーズⅠ/Ⅱ	自社	自社
疼痛・神経	S-297995 （ナルデメジントシル酸塩） ［日本：スインプロイク®］ ［米国：Symproic®］ ［欧州：Rizmoic®］	末梢性オピオイド受容体アンタゴニスト （経口・散剤）	オピオイド誘発性便秘症（小児）	欧州：フェーズⅠ/Ⅱ	自社	自社
	S-297995 （ナルデメジントシル酸塩）	末梢性オピオイド受容体アンタゴニスト （経口）	術後イレウス	米国：フェーズⅡ	自社	自社
	S-120083	未公表 （経口）	炎症性疼痛	日本：フェーズⅠ 米国：フェーズⅡ	自社/Purdue社（米国）	自社/Purdue社
	S-010887	未公表 （経口）	神経障害性疼痛	日本：フェーズⅠ	自社	自社
	S-117957	未公表 （経口）	不眠症	米国：フェーズⅠ	自社/Purdue社（米国）	自社/Purdue社
	S-600918	$P2X_3$受容体アンタゴニスト（経口）	神経障害性疼痛	日本：フェーズⅠ	自社	自社
	S-600918	$P2X_3$受容体アンタゴニスト（経口）	難治性・原因不明慢性咳嗽	グローバル：フェーズⅡ	自社	自社
	S-600918	$P2X_3$受容体アンタゴニスト（経口）	睡眠時無呼吸症候群	日本：フェーズⅡ	自社	自社
	S-637880	未公表 （経口）	神経障害性腰痛	日本：フェーズⅡ	自社	自社
	LY248686 （デュロキセチン塩酸塩） ［サインバルタ®］	SNRI（セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害薬）（経口）	うつ病・うつ状態（小児）	日本：フェーズⅢ	Eli Lilly社（米国）	自社/日本イーライリリー社
	S-812217 (Zuranolone)	GABAA受容体ポジティブアロステリックモジュレータ（経口）	うつ病・うつ状態	日本：フェーズⅡ	Sage社（米国）	自社/Sage社
	SDT-001	中枢作用に基づく、治療用デジタルアプリ	ADHD患者の不注意症状（小児）	日本：フェーズⅡ	Akili社（米国）	自社/Akili社
	BPN14770	PDE4Dネガティブアロステリックモジュレータ （経口）	脆弱X症候群	米国：フェーズⅡ	Tetra社（米国）	自社/Tetra社
	BPN14770	PDE4Dネガティブアロステリックモジュレータ （経口）	アルツハイマー型認知症	米国：フェーズⅡ 日本：フェーズⅠ	Tetra社（米国）	自社/Tetra社
代謝疾患	S-237648	ニューロペプチドＹY5受容体アンタゴニスト （経口）	肥満症	日本：フェーズⅡ 米国：フェーズⅠ	自社	自社
	S-707106	インスリン抵抗性改善薬（経口）	2型糖尿病	米国：フェーズⅡa	自社	自社
	ADR-001	ヒト他家脂肪組織由来の間葉系幹細胞（注射）	非代償性肝硬変	日本：フェーズI/Ⅱ	ロート社	自社/ロート社
	S-723595	アセチルCoAカルボキシラーゼ2阻害（経口）	非アルコール性脂肪肝炎	日本：フェーズⅠ	自社	自社

領域	開発No. （一般名） ［製品名］	作用機序 （剤型）	適応症	ステージ	起源	開発
フロンティア	S-588410	がんペプチドワクチン（注射）	食道がん	日本：フェーズⅢ	オンコセラピー・サイエンス社（日本）	自社
	S-588410	がんペプチドワクチン（注射）	膀胱がん	日欧：フェーズⅡ	オンコセラピー・サイエンス社（日本）	自社
	S-488210	がんペプチドワクチン（注射）	頭頸部がん	欧州：フェーズⅠ/Ⅱ	オンコセラピー・サイエンス社（日本）	自社
	S-588210	がんペプチドワクチン（注射）	固形がん	英国：フェーズⅠ	オンコセラピー・サイエンス社（日本）	自社
	S-222611 (epertinib)	HER2/EGFRデュアル阻害薬（経口）	悪性腫瘍	欧州：フェーズⅠ/Ⅱ	自社	自社
	S-770108	抗線維化作用 （吸入）	特発性肺線維症	日本：フェーズⅠ	自社	自社
	SR-0379	肉芽形成促進作用 （外用）	皮膚潰瘍（褥瘡，糖尿病性潰瘍）	日本：フェーズⅡ	ファンペップ社（日本）	自社/ファンペップ社
	S-005151 （レダセムチドトリフルオロ酢酸塩）	間葉系幹細胞を末梢血に動員（注射）	脳梗塞	日本：フェーズⅡ	ステムリム社（日本）	自社
	S-005151 （レダセムチドトリフルオロ酢酸塩）	間葉系幹細胞を末梢血に動員（注射）	表皮水疱症	日本：フェーズⅡ（申請準備中）	ステムリム社（日本）	自社

＜導出品＞

開発No. （一般名） ［製品名］	作用機序 （剤型）	適応症	ステージ	起源	開発
S/GSK1265744 LAP*[1] (cabotegravir)	インテグラーゼ阻害（注射）	HIV感染症（治療及び予防）	（CAB*[2] LAP+RPV*[3] LAP 2剤療法） カナダ：承認（2020年3月） 米国：承認（2021年1月） 欧州：承認（2020年12月） （CAB LAP、予防適応） グローバル：フェーズⅢ	Shionogi-ViiV Healthcare社	治療：ViiV Healthcare社（英国） 予防：ViiV社、HPTN、NIAID、Gilead社（米国）
S-0373	非ペプチド型TRHミメティック（経口）	脊髄小脳変性症	日本：フェーズⅢ	自社	キッセイ薬品（日本）
S-033188 （バロキサビル マルボキシル） ［米国：Xofluza™］	キャップエンドヌクレアーゼ阻害（経口）	インフルエンザウイルス感染症	米国：承認（2018年10月） 米国：承認（ハイリスク患者）（2019年10月） 米国：申請（小児、1歳以上）（2020年3月） 米国：承認（顆粒、12歳以上）（2020年11月） 米国：承認（予防投与、12歳以上）（2020年11月） 欧州：承認（治療、12歳以上）（予防投与、12歳以上）（2021年1月） グローバル：フェーズⅢ（重症） グローバル：フェーズⅢ（小児、1歳未満） グローバル：フェーズⅢ（伝播抑制）	自社	自社/Roche社（スイス）

*1 Long acting parenteral formulation、*2 Cabotegravir、*3 Rilpivirine

2020年10月30日からの変更点

ステージの変更	S-033188（予防投与）：日本：申請（2019年10月）→承認（体重20kg以上）（2020年11月）
	S-637880（神経障害性疼痛）：日本：フェーズⅠ→（神経障害性腰痛）フェーズⅡ
	S-033188（顆粒・12歳以上）（予防投与・12歳以上）：米国：申請（2020年3月）→承認（2020年11月）
	S-033188（治療・12歳以上）（予防投与・12歳以上）：欧州：申請（2019年11月）→承認（2021年1月）
	S/GSK1265744 LAP（HIV感染症）（2剤療法）：米国：再申請（2020年7月）→承認（2021年1月）
	S/GSK1265744 LAP（HIV感染症）（2剤療法）：欧州：申請（2019年7月）→承認（2020年12月）
開発品の追加	S-268019（新型コロナウイルス感染症の予防）：日本：フェーズⅠ/Ⅱ
	S-723595（非アルコール性脂肪肝炎）：日本：フェーズⅠ
開発品の削除	S/GSK1349572（dolutegravir）（DTG/3TC 2剤配合剤療法）：承認取得（2020年8月）のため
	オキシコドン塩酸塩水和物（オキシコンチン®）：承認取得（2020年10月）のため